

自 2022 年 4 月 1 日
至 2023 年 3 月 31 日

2022 年度事業報告書

公益財団法人 MR 認定センター

2022 年度事業報告書

自 2022年4月1日 至 2023年3月31日

1. 2022 年度事業の実施

2022 年度の事業は、2022 年 3 月 16 日に開催された公益財団法人 MR 認定センター第 49 回理事会において承認を得た「令和 4 年度事業計画」に基づき実施した。

2. 理事・監事・評議員

1) 評議員の選任

6 月 16 日に開催された第 24 回評議員会において任期満了に伴う評議員の選任を行い、評議員 9 名の内 8 名を再任した。また、評議員猿田享男氏は任期満了により退任した。

評議員磯部総一郎氏の辞任申し出に伴い、第 25 回臨時評議員会において安部好弘氏を評議員として選任した。評議員の任期は、定款第 16 条により 2026 年度定時評議員会の終結の時までとなる。

2) 理事の選任及び理事長の選定

第 24 回評議員会において任期満了に伴う理事及び監事の選任を行い、理事 9 名のうち 8 名と監事全員を再任した。また、澤井光郎氏の任期満了による退任に伴い高田浩樹氏を選任した。

第 26 回臨時評議員会において、新たに石田佳之氏を理事に選任した。理事の任期は、定款第 33 条により 2024 年度定時評議員会の終結の時までとなる。

また、5 月 23 日に開催された第 50 回理事会において井廻道夫理事を理事長として選定した。

3) 理事長及び業務執行理事の選定

第 24 回評議員会で再任された井廻道夫理事を代表理事に選定し、呼称を理事長とする決議を行った。また、近澤洋平理事を業務執行理事(専務理事)に選定した。

4) 代表理事の選定

2023 年 1 月 13 日に開催された第 54 回理事会において畠清彦理事を代表理事に選定した。

5) 理事会及び評議員会の開催

(1) 理事会

第 50 回 5 月 23 日 於:ステーションコンファレンス東京 606 会議室

- ①井廻代表理事を理事長に選定した。
- ②令和 3 年度事業報告書(案)を承認した。
- ③令和 3 年度決算報告書(案)を承認した。
- ④第 24 回評議員会の招集を決議した。

⑤理事長及び専務理事より業務執行状況に関して報告された。

第 51 回 6 月 24 日 (定款第 45 条の規定による決議の省略の方法により決議)

- ①代表理事選定に関する件を承認した。
- ②代表理事の呼称に関する件を承認した。
- ③業務執行理事(専務理事)の選定に関する件を承認した。

第 52 回 8 月 25 日 (定款第 45 条の規定による決議の省略の方法により決議)

- ①第 25 回臨時評議員会を招集する件を決議した。

第 53 回 11 月 21 日 (定款第 45 条の規定による決議の省略の方法により決議)

- ①第 26 回臨時評議員会を招集する件を決議した。

第 54 回 2023 年 1 月 13 日 於:ステーションコンファレンス東京 606 会議室

- ①代表理事の選定について承認した。
- ②第 29 回 MR 認定試験の結果について承認した。
- ③認定試験制度改革検討委員会の検討結果について承認した。
- ④令和 5 年度事業方針を報告した。

第 55 回 2023 年 3 月 13 日 於:ステーションコンファレンス東京 402CD 会議室

- ①特定費用準備資金計画期間の変更について承認した。
- ②令和 5 年度事業計画(案)を承認した。
- ③令和 5 年度収支予算(案)を承認した。
- ④代表理事及び専務理事より業務執行状況に関して報告した。

(2) 評議員会

第24回 6月16日 於:ステーションコンファレンス東京 606会議室

- ①任期満了に伴う評議員の選任(案)について承認した。
- ②任期満了に伴う役員(案)の選任(案)について承認した。
- ③令和 3 年度決算報告書(案)について承認した。
- ④令和 3 年度事業報告書について報告した。
- ⑤令和 4 年度事業計画について報告した。
- ⑥令和 4 年度収支予算について報告した。
- ⑦事業構造改革の推進について報告した。

第 25 回 9 月 1 日 (定款第 25 条の規定による決議の省略の方法により決議)

- ①評議員候補者の選任を承認した。

第 26 回 12 月 1 日 (定款第 25 条の規定による決議の省略の方法により決議)

- ①理事候補者の選任を承認した。

3. MR認定試験の実施及び認定に関する事業(定款第4条第1号関係)

1) 第29回MR認定試験の実施

(1) 試験の実施

試験日時 12月11日(日)午前9時30分より午後4時20分まで

試験地 東京:武蔵大学 大阪:大阪工業大学大宮校

受験者数

	合計	新規受験	再受験
受験者数(名)	1,232	1,035	197
申請者数(名)	1,278		

(2) 試験委員会の開催

第29回MR認定試験・スタートアップ試験委員会 5月19日実施

- ・第29回MR認定試験の作問要領の確認及び提出期限の確認を行った。

第29回MR認定試験運営委員会 9月6日実施

- ・第29回MR認定試験問題等について検討した。

第29回MR認定試験・合否判定試験委員会 2023年1月10日実施

- ・第29回MR認定試験の結果を検討し、合否判定を実施した。

(3) 合否の判定

2023年1月13日付の第54回理事会で承認を受けた後、1月27日付で受験者に試験結果を通知した。

	合計	新規受験	再受験
合格者数(名)	1,010(82.0%)	878(84.8%)	132(67.0%)
不合格者数(名)	222	157	65

(4) 合格基準点の公表

- ・医薬品情報:55点(80点満点) (68.8%)
- ・疾病と治療:61点(110点満点) (55.5%)
- ・MR総論: 54点(80点満点) (67.5%)

2) 第30回MR認定試験の準備

第30回試験は2023年12月10日とし、実施に向けて準備に入った。

(1) 第30回試験受験案内

2022年3月30日付で各企業に通知した。

(2) 試験会場

武蔵大学、大阪工業大学から借用の内諾を得た。

3) MR認定証の発行及び管理

(1) 認定証の発行

第29回MR認定試験合格者への認定証は、申請のあった693名に対し順次発送した。

また、企業の合併やMRの企業間移動及び認定証の棄損・亡失などの理由により

再交付した認定証は、446 枚であった。

(2)再受験科目の管理

不合格者に対しては、再受験科目の管理を行った。

(3)MR バッジの再交付

企業から 118 個の追加注文を受け、再交付した。

4)MR認定証の更新手続き

認定証の有効期限が 2023 年 1 月末日の者を主な対象とし、5 年間の所定の認定研修を修了した者に対して、MR 学習ポータルに掲載された更新時確認ドリルの修了により認定証を更新した。

(1)「MR 認定証」の更新

①MR 認定証での更新

更新要件(所定の認定研修及び更新時確認ドリル修了者)を満たした者 11, 717 名に対して、「MR 認定証」の更新を行った。

②「MR 基礎教育限定認定証」での更新

更新要件のうち、更新に必要な最終年度の実務教育を修了認定されていない者 2, 859 人に対して、「MR 基礎教育限定認定証」での更新を行った。

4. MRの資質向上等に関する調査研究及び広報事業

1) 調査研究事業

(1)大規模「MR 実態調査」の実施

医師 2,000 名、薬剤師 600 名を対象とした調査は、2022 年 2 月(2021 年度)に実施し医師 2,084 名、薬剤師 624 名から回答を得た。追加して MR を対象に 2022 年 8 月 8 日～23 日に行い、1,292 名から回答を得た。3 つの調査それぞれの結果をまとめるだけでなく医師-MR、薬剤師-MR の対比から考察を行い、MR への医療関係者からの期待感、今後も医療機関から求められる存在であり続けるための課題を抽出した。なお、本調査を「MR 実態調査 2022 報告書」として 4 月 24 日に関係する各団体、企業、センター委員、役職員に配布を予定している。

(2)MR 活動に関する実態調査(MR 白書)の実施

センターに登録している製薬企業 187 社と CSO14 社、卸 1 社に対し 2022 年 3 月 31 日時点での MR の実態及び教育研修の現状についてアンケート調査を行い、回収率は 100%であった。「MR 白書」(2022 年版)としてとりまとめた。

9 月 16 日に厚生労働省、日本製薬工業協会をはじめとする関係各所、及びセンター登録 202 社に「MR 白書」(2022 年版)を発送した。

(3)学会発表等

①第 24 回日本医薬品情報学会(2022 年 7 月 9 日～10 日)において、大規模「MR 実態調査」の医師編、薬剤師編の結果をポスター発表した。

②日本薬学会第 143 年会(2023 年 3 月 26 日～28 日)において、大規模「MR 実態調査」の MR 編の結果および医師編、薬剤師編と対比した考察をポスター発表した。

2) 広報事業

(1) 2022 年度 MR フォーラム

MR が医療関係者からの期待に応えるために MR 職としてのプロ意識を持ち、行動することにより医療に貢献して、ひいてはその存在価値を高めるきっかけになることを目的に「MR の存在価値を高めるために」をテーマに、以下のプログラムを現地会場と Web ライブ配信のハイブリッド形式で開催した。プログラム中、参加者と双方向に進められるよう Q&A の各機能を用いた。

また、厚生労働省と一般社団法人くすりの適正使用協議会の後援を得た。

①開催日及び場所:

8月24日(水) 13:30～16:30

東京コンファレンスセンター品川

②プログラム

13:30～13:35	開会あいさつ MR認定センター理事長 井廻 道夫
13:35～14:00	私の考える 医師のプロフェッショナリズムとは 東京医科大学 総合診療医学分野 東京医科大学病院 総合診療科 臨床教授 平山 陽示
14:05～14:30	チーム医療における薬剤師のプロフェッショナリズムとは 帝京大学薬学部病院薬学研究室 主任教授 帝京大学医学部附属病院薬剤部 部長 安野 伸浩
14:45～15:00	MR としての わたしの Values” とは 武田薬品工業株式会社 MR 重政 仁美
15:00～15:20	MR 活動 で心掛けていること 住友ファーマ株式会社 MR 佐々木 茜
15:20～16:25	パネルディスカッション 「MR活動に対する心構えのあるべき姿とは何か」

③参加者数(会場+Web)

MR	1,048 名	50.7%
MR の上司	266 名	12.9%
教育研修担当者	401 名	19.4%
製薬企業・CSO の上記 3 つ以外	246 名	11.9%
業界団体・医療機関・薬局・大学・官公庁	26 名	1.3%
その他	80 名	3.9%
全体	2,067 名	100.0%

④結果の公表

8月30日に本町記者会へ結果報告を公表した。

(2)大学での講義等

- ・5月12日 東京薬科大学薬学部にて「医薬品情報特論」講義(WEB講義)
- ・7月13日 武蔵野大学薬学部にて「キャリアデザイン1」講義(大学8号館)
- ・7月19日 武蔵野大学薬学部にて「ランチセミナー」講義(WEB講義)
- ・8月9日 6薬科大学「医療産業研究セミナー」WEB講演
- ・2023年3月17日 京都府薬剤師会主催講演会にて「MRの存在意義と医療への貢献」WEB講演

(3)学会等での展示

日本薬学会第143年会(2023年3月26日～28日)で展示を行い、薬学部学生及び教員にMR認定制度とMRの仕事について紹介した。MRと認定制度の理解度向上とMR認定試験の受験促進を図ることを目的としたメッセージとデザインの展示パネルを作成した。

(4)センターWebサイトのリニューアル

2022年12月1日にリニューアル後のWebサイトを公開した。リニューアルの目的は以下のとおり。

- ・耐用年数を超えたサーバーおよびOSの入れ替えを行う。
- ・一般の方に向けて、MR(職業、役割、価値、認定制度、生涯教育、今後の発展性)を広く正しく認知してもらい、MRを志望する人材を増やす。
- ・個人のMR認定証保持者が継続教育や認定証更新について理解し、自身で取り組めるようにする。
- ・他の露出媒体(展示パネルや記事広告等)とメッセージ、イメージの統一化を図り、受け手に正しく、早く伝わるようにする。
- ・Webサイトの管理運営を簡略化し、コンテンツの更新をセンター内で行えるようにする。

(5)センター創立25周年記念記事体広告

薬事日報(2022年12月19日号)に記事体広告を掲載。照井康仁先生(埼玉医科大学血液内科教授)、川久保孝先生(東京慈恵医科大学附属病院薬剤部長)、石田佳之氏(日本製薬工業協会常務理事)、佐藤大作氏(厚生労働省医薬・生活衛生局監視指導・麻薬対策課課長)に取材を引き受けていただき、MRへの今後の期待を述べていただいた。近澤洋平専務理事から2026年度に新認定試験制度がスタートすることを告知した。

5. MRに対する教育研修に関する事業(定款第4条第2号関係)

1)教育研修システムの認定及び更新

(1)教育研修システムの認定及び登録解除

新規に教育研修を開始する企業からの申請に基づき、教育研修システムの認定を3社行った。一方、業務廃止・企業合併に伴い5社の登録を解除した。2023年3月

31日現在センター登録企業数は、205社である。

(2) 教育研修システムの更新

センター登録企業は、「教育研修システム認定更新講習会」に参加し、試問に合格することで認定が更新される。(要綱第12条第5項、細則第7条)

開催日:東京会場:2023年2月7日(火) 大阪会場:2023年2月9日(木)

受講料:1名につき7,700円(税込み)

参加者:206社 361名(会場参加数228名、オンライン参加133名)

プログラム:

13:00～13:05	開会挨拶 専務理事 近澤洋平
13:05～13:35	第29回認定試験の結果について 試験事業部長 若桑秀司
13:35～14:15	2021年度制度改定の検証と2023年度の留意点 教育研修部長 神田明
14:15～15:00	現行制度の理解度の確認 企画部長 小日向強
15:15～15:25	MRテキスト2024について 企画部長 小日向強
15:25～16:05	中期計画・2026年度改定について 専務理事 近澤洋平
16:05～16:45	質疑応答

2) 教育研修の修了認定

2022年度の教育研修(導入・継続)の計画の届け出の受付並びに実施申請の修了認定数、修了者数は下表のとおり。

2022年度教育研修計画の受付・実施申請の修了認定 (2023年4月30日現在)				
教育研修種類	計画届出受付数	実施申請修了認定数	修了者人数	中止他
導入	99	97	965	2
導入(基礎)	18(8)	17(7)	94(24)	1
導入(実務)	10	9	74	1
導入(有資格者)	2	2	2	0
導入教育_計	129	125	1,135名	4
継続(基礎)	3	3	3,413	0
継続(実務)	202	199	58,571	3
継続教育_計	205	202	61,984名	3

():実施機関での受講数

3) 教育研修委員会

石田佳之委員、伊藤誠悟委員、兎耳山晋委員が辞任し、古田直人氏、宮原康行氏が委員に就任した。

(1) 第 60 回委員会 (2022 年 9 月 9 日 (金) 17:00-18:00 ハイブリッド開催)

- ・新制度における教育研修の現状と課題について
- ・教育研修推進者会議の開催について
- ・MR 認定試験制度改革検討委員会について
- ・実務教育認定基準の作成について

(2) 第 61 回委員会 (2023 年 3 月 10 日 (金) 17:00-18:00 ハイブリッド開催)

- ・2021 年度制度改定の検証
- ・2026 年度の MR 認定制度改革に向けて
- ・実務教育認定基準の策定について
- ・MR テキスト 2024、MR 学習ポータルについて

4) 教育研修に対する支援事業

(1) 教育研修推進者会議

業界全体の教育研修の充実強化を目的に、制度改定 2 年目を迎え、多くの企業が抱える課題が明確になったことから「実務教育の質を高める教育研修を考える」をテーマとして、センターから現状と課題の提起、企業 4 社からの事例発表を実施した。

開催日: 2022 年 10 月 18 日 (火) 対面・Web のハイブリッド開催

参加料: 1 名につき 5,500 円 (税込み)

参加者: 教育研修推進者及び教育研修関係者

企業数	参加者数
178 社 (会場: 36 社) (企業: 174 社、実施機関: 4 社)	312 名 (会場: 47 名) (企業: 305 名、実施機関: 7 名)

プログラム

1. 開会挨拶	近澤 専務理事	13:00-13:15
2. 実務教育の現状と課題提起	神田 教育研修部長	13:15-13:35
3. 企業事例発表 (第 1 部) 1) 関連部署との協働について 2) 指導育成のための同行を開始する Q&A、ディスカッション	イーライリリー (推進者) トーアエイヨー (推進者) 全員	13:45-14:55
4. 企業事例発表 (第 2 部) 3) 効果的な OJT を実施する 4) 継続性をもって PDCA を回す Q&A、ディスカッション	帝人ファーマ (推進者) アツヴィ (総括責任者) 全員	15:10-16:20
5. 閉会にあたって	小日向 企画部長	16:20-16:30

6. 出版物の頒布に関する事業(定款第4条第3号関係)

1)MRテキスト 2018 紙版の頒布

(1)頒布価格及び頒布部数

MR 総論の在庫僅少により、すべての書籍について企業の購入予定調査を含めて今後の頒布部数の予測を行い、増刷を検討したところ、増刷コストが極めて大きくかつ2023年12月に頒布を終了し、2024版に切り替えることから廃棄損も大きいことが判明したため、MR 総論のみ 800 部増刷を行うことにした。

2022年10月20日にWebサイト上で個人への紙版の販売を終了することを告知した。また11月2日に企業向けに紙版を購入予定に応じて頒布する告知を行い、頒布を継続している。

書籍名	税込み価格	頒布部数
MRテキスト2018 医薬品情報	2,970円	1,078部
MRテキスト2018 疾病と治療(基礎)	2,420円	1,123部
MRテキスト2018 疾病と治療(臨床)	3,740円	1,113部
MRテキスト2018 MR総論	4,070円	1,076部
MRテキスト2018 医薬品情報 第6章追補	440円	1,075部

(2)正誤表の作成と頒布

各テキストの内容について記述の誤りなどに対応し、これまですべての正誤表を統合し、正誤表 2022年6月としてセンターWebサイト上で無償頒布した。

(3)追補の作成と頒布

各テキストの内容について法改正、制度改定などに対応し、これまでのすべての追補を統合し、追補 2022年6月または7月としてセンターWebサイト上で無償頒布した。

2)MRテキスト 2018 電子版の頒布

(1)頒布価格及び頒布部数

2022年度電子版テキストは、頒布価格 1,650円(税込)とし4月1日～2023年3月31日閲覧可能とした。

書籍名	税込み価格	部数
電子版(4冊のテキストを閲覧可)	1,650円	2,660部

3)MR テキスト 2024 制作

(1)原稿の執筆と初校組制作

4月より本格的に原稿の執筆を開始し、10月中旬にはほぼすべての原稿が出揃った。それ以降、制作を委託している株式会社南山堂が全体の校正作業と初校ゲラの作成を行っている。

(2)医薬品情報、疾病と治療の監修体制の整備

7月の試験委員会にて監修業務委託の承諾を得て、2023年3月1日付でご担当

いただく試験委員と監修業務委託契約を締結した。

4)MR 学習ポータル

(1)MR 学習ポータルの利用実績

MR 学習ポータル(有料版)は、1 契約あたりの価格を 1,155 円(税込)とし 2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日の期間で利用可能とした。

	税込み価格	契約数
MR 学習ポータル	1,155 円	71,304 件

(2)MR 学習ポータルの運用管理

1 年間を通して、大きな問題はなくすべてのサービスの提供を終えた。

運用状況を常時モニタしており、サーバーの不安定な稼働やストレージの不足に対処し、ハード面の強化を行った。また、ユーザビリティの向上および利用上の軽微な不具合への対応を目的に、システム改修を行った。

(3)次年度のドリル掲載準備

①直近の MR 認定試験過去問題

2023 年 4 月 1 日より有料版利用者に提供できるよう第 29 回 MR 認定試験過去問題を電子化、準備を整えた。

②基礎教育年次ドリル

2023 年度版のドリル問題の作成を依頼するために、2 月 17 日に作問依頼の概要説明会を開催し、6 社が参加した。その全企業に作問を依頼した。業務委託契約は昨年度からの自動更新となっている。2023 年 5 月 15 日をドリル問題の納品期限とした。

5)その他の冊子の作成と頒布

- ・「まんが MR 物語 改訂版」
- ・「MRの果たすべき役割 改訂版」
- ・MR認定要綱解説書 2021 年 3 月
- ・MRの資質向上を目指した継続教育の充実について 2018 年 2 月
- ・MR継続教育進め方手引き 2019 年 3 月
- ・MR認定センター事業構造改革検討会検討結果報告書 2019 年 4 月
- ・MR認定センター20 年史 2019 年 10 月
- ・MR認定制度抜本改革の検討結果報告書 2020 年 8 月

7. 設備投資等について

1)MRO の再構築

- ・MR 認定制度抜本改革に伴い、公益目的事業1及び2に関わる IT システム MRO の設備投資を行った。

2)MR 学習ポータルへのテキストビューワー搭載の検討

・MR テキスト電子版の利用者の利便性向上を目的に HTML 形式から PDF 形式または ePub 形式への変更を検討した結果、利便性がより高い ePub 形式を採用することを決定した。MR 学習ポータルの標準機能に拡張する開発を開始した。2023 年 10 月に実装を予定している。

以上

2022年度「事業報告の附属明細書」について

2022年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する“事業報告の内容を補足する重要な事項”が存在しないので附属明細書を作成しない。

以上